

2020年1月27日

---

## グローバル化の加速で、バイリンガル人材に高需要 人手不足を補うための最新技術の導入が、テクノロジー人材不足の一因に

人材紹介会社ロバート・ウォルターズ、「給与調査 2020」刊行

---

専門スキルと英語力を備えたグローバル人材の転職・採用を支援する人材紹介会社のロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ジェレミー・サンブソン）は1月27日、グローバル化の進む国内企業と外資系企業の求人・中途採用事例をもとに人材採用・給与水準のトレンドをまとめた「給与調査 2020」を刊行しました。

給与調査 2020（冊子）は、日本語版、英語版の2言語で希望者に無料で配布します。オンライン版も同日より [robertwalters.co.jp](http://robertwalters.co.jp) にて公開します。



### グローバル人材の国内採用トレンド（概況）

国内の有効求人倍率は1.6倍前後をほぼ横ばいに推移し、少子高齢化社会による労働者不足は解消の兆しがなかなか見えません。特にグローバル人材に対しての需要は引き続き高まっています。事務職やサプライチェーン、製造、サービスなどの現場では、時間のかかる単純作業や身体への負担が大きな作業を機械化・自動化することで、人材不足への対策を講じています。さらに、東京オリンピックを目前に控える日本では国際化が加速しています。外資系はもとより海外事業の進む国内企業でも英語に堪能で国際感覚の優れたグローバル人材の需要が高まっています。

観光・外食・ホテル・エンターテインメント施設などのサービス業では、特に観光地での消費需要を先読みし全国的にバイリンガル、トリリンガル人材の採用が増えています。また昨年は、日本人旅行者の国内・海外旅行者数が過去最高の水準に達し、オンライン旅行会社（OTA）での求人・採用も著しく増えました。オリンピックを控えて協賛企業のマーケティング部門や、広告代理店・PR会社での求人も一定数みられました。昨年は、消費増税を前に国内個人消費の活発化を見込んだ小売大手、Eコマース企

業でデジタルマーケティング、ロジスティックスの人材採用も増えました。

産業用 IoT、クラウドコンピューティング、人工知能（AI）、モビリティ（コネクテッドカー・自動運転）、医療テックなど、新興分野での人材採用にも継続的な盛り上がりが見られます。IT・通信・オンライン分野に従事する開発者、セキュリティ・スペシャリスト、エンジニア、コンサルタント、営業人材への引き合いは大変強くなっています。オンライン分野では特にスマホ決済サービスの開始が相次いだことから、金融出身者、アプリ開発者、セキュリティ・スペシャリストなど専門性の高い経験・スキルを持つ人材がスマホ決済分野に移る動きも見られました。人手不足を補うことを目的に最新テクノロジーの導入が広がる傍らで、そのテクノロジーの商用化・導入・運用を担う専門人材の不足という課題が新たに生まれています。

高齢化社会の日本では認知症、アルツハイマー病などの中枢神経系、腫瘍分野（オンコロジー）の診断・治療、ライフサイエンス分野などを中心にヘルスケア業界での人材需要も昨年から高止まりが続いており、レギュラトリーアフェアーズ、メディカルアフェアーズ、安全性情報などを専門とするスペシャリストの引き合いは特に強まっています。また人生 100 年時代という言葉とともに加速的に広がった健康志向ともなって、栄養補助食品・飲料の原料、オーガニック原料を扱う化学・原料メーカーでも求人を増やしています。

データの集積・利活用の広まりによる個人情報保護法の遵守や、内部管理・セキュリティー対策の不十分による仮想通貨・スマホ決済での問題を受けて厳格化が進む金融規制などに対応するようセキュリティ、監査、リスク・コンプライアンス関連職では専門性の高い人材の採用が増えています。またビジネス環境の国際化で特許・知財・独禁法関連など法務の仕事でもますます高い英語力が求められるため、グローバル人材は法律分野でも引き合いが強くなっています。

長期的な人手不足が深刻で、英語を扱えるバイリンガルの少ない日本では、2020 年も国際感覚と語学力に優れた日本人と、技術職などの高い専門スキルを持った外国人の売り手優勢な環境が続くことが見込まれます。

**ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社について** (<https://www.robertwalters.co.jp/>)

ロバート・ウォルターズは1985年に英国・ロンドンで設立され、世界31カ国/地域の主要都市に拠点を持つ、スペシャリストのためのグローバル人材紹介会社です。ロバート・ウォルターズ・ジャパンは同社の日本オフィスで、バイリンガル人材に特化しています。2000年に東京オフィスを、2007年には大阪オフィスを開設。グローバル企業、日系企業ともに世界有数のトップ企業から新規参入企業、中小企業に至るまで、多岐に渡る業種・職種、正社員および派遣・契約社員と幅広い採用ニーズに応えた人材紹介をおこなっています。ラグビー日本代表のオフィシャルスポンサー、各種NPOの支援など日本社会への貢献にも積極的に取り組んでいます。

<本件に関するお問い合わせ先>

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社 広報

TEL : 03-4570-1500 e-mail : info@robertwalters.co.jp

## <別添> ホワイトカラー人材の主な人材採用トレンド

### 世界的なトレンド：

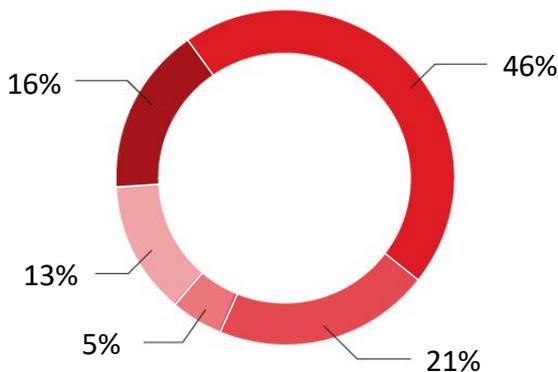
- デジタル変革（デジタル化）：AI /ビッグデータ/ UX /開発/サイバーセキュリティーの人材の獲得競争が激化
- リスク/コンプライアンス/監査：金融規制の厳格化、個人データ取扱いに関する要求増による人材需要

### 国内のトレンド：

- バイリンガル人材を巡る求人倍率は数倍
- グローバル化の進む日系企業に広がる：バイリンガル人材に高需要
- 転職時に提示される給与：インフレ進む
  - 英語ができるスキル人材の46%が転職で10%以上の年収増を経験（国内の就労者一般では25%）

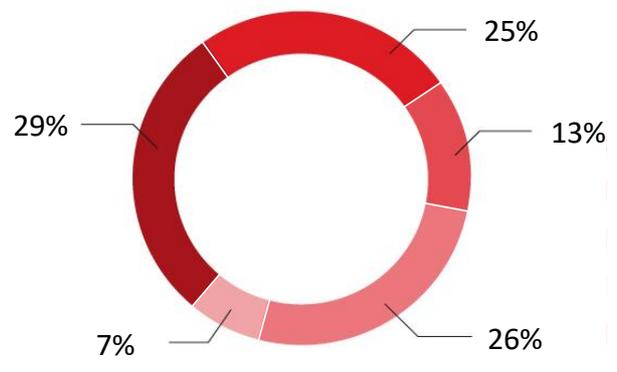
#### 英語ができるスキル人材

出所：ロバート・ウォルターズ・ジャパン



#### 国内の就労者一般

出所：厚生労働省「平成30年雇用動向調査」



■ 1割以上の増加 ■ 1割未満の増加 ■ 変わらない ■ 1割未満の減少 ■ 1割以上の減少

- 職種別トレンド
  - 人事部での求人増：働き方・ダイバーシティ施策、ビジネス拡大、M&A
  - ファイナンシャルプランニング&アナリシスで増員：フィンテック、IT、ヘルスケア業界を中心にポジション新設・増員目立つ
  - ロジスティクス専門人材に需要増：品質管理、プランナー（需要計画）、倉庫管理

### 業界別トレンド：

- 金融サービス
  - 銀行・証券・保険：若手人材を求める欠員補充

- キャッシュレス決済・ロボアドバイザー：DevOps（開発・運用）、ロボット工学、機械学習、金融、監査で求人増
  - コンサルティング会社：経営改善、オペレーショナル・エクセレンス、デジタル変革関連プロジェクトで第二新卒層・中堅層の人材採用増
- 製造
    - 産業用 IoT & 自動化：自動化部品、コネクティビティ、ロボット、メカトロニクス、ソフトウェア領域の経験を持つエンジニアに求人増
    - コネクテッドカー・自動運転・電気自動車：ソフトウェアエンジニア、電気エンジニア、オンサイト・エンジニアに高需要
    - バッテリー・工業用接着剤・エンブラ：新規開拓・営業職を中心に高い人材需要
    - 再生可能エネルギー & 洋上風力発電：要求されるスキルセットが複雑なため人材採用が難航するケースも
    - 営業活動の積極化：日系・外資系の参入企業では新規開拓・テクニカルセールス人材に高需要
    - 外国人材採用の増加：アプリケーションエンジニア、研究開発（R&D）などの技術職
- 消費財・小売
    - リテールマネジャー & ストア開発職：既存店舗での売上増、新店舗の開店・既存店舗アップデート
    - クライエンテリング & カスタマーエクスペリエンス：カスタマー・リレーションシップ・マネジメント（CRM）職で求人増（要因：オンライン店舗・実店舗の顧客データ一括管理化）
    - Eコマース & デジタルマーケティングの専門人材：オンライン小売企業にて求人増
    - 2020 五輪：ホテル、店舗などの商業施設：バイリンガル&トリリンガル人材に高需要
    - 消費者エンゲージメント & 体験型マーケティング：五輪スポンサー企業、広告代理店、PR会社：マーケティング職に求人増
- テクノロジー
    - 業界内の人材需要トップ3：開発・テクニカルサポート・プロダクトマネジメント
    - 役割の変化：AI、機械学習、ビッグデータが売上げの源に
    - デジタル変革の推進・ロボティックプロセスオートメーション（RPA）の普及
    - AI・機械学習スペシャリストを巡る人材争奪戦：求人倍率6 - 10倍
      - ビジネス経験の無い、新卒生（PhD）を採用する企業を散見
    - 外国人材採用の増加：2019年転職：2018年より7ポイント増加